

監督◆インタビュー

監督

ランコ ポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールは
こちらをクリック!

--前節の横浜FC戦における選手たちの奮闘を改めてどう感じていらっしゃいますか。

「選手たちが持てる力を見せてくれた試合だったので、それが勝ち点3に繋がらなくて残念です。ただシーズンは長いですし、長い目で見た時に強い相手に対して、自分たちの力を出して相手を上回ることができたのは我々にとっては良いことだと思います。甲府戦に関しても全てが悪かったとは言いませんが、消化不良な試合になってしまったのは受け入れ難いことでした。横浜FC戦に関しては、積極的に良さを出していましたし、プレー強度に関しても満足しています。甲府戦はイージーミスが続いたことで積極的なプレーを出せませんでした。横浜FC戦もミスが出た後に挽回するような姿勢を見せていましたし、気持ちを下げずにトライできたのは甲府戦と違うことでした。甲府戦の内容であれば、たとえ勝っても次には繋がっていきません。我々が消極的なプレーをしてしまえば、順位が下のチームと何も変わらないことになってしまいます。敗戦から学ばないことは人生で一番無駄な時間だと思っています。勝って修正できるのが一番良いことですが、横浜FC戦は甲府戦の敗戦から学べたことを生かした試合でした」

--今節対戦する徳島の印象は？

「徳島さんはJ1から降格してきたチームですし、主力で抜けた選手は多いですが、質の高い新しい選手が入ってきましたから、戦力的なダウンはそんなにはないチームだと思います。この試合も横浜FC戦同様に我々次第です。自分たちらしく戦うことができれば、問題は最小限に済むと思いますし、苦しむのは相手チームの方です。チームの最大値を自分たちで引き上げることができなければ、J1昇格という目標に届かないと思っています。どんな相手でも最大のモチベーションを引き出してそれを見せ続けること。自分たち次第で結果を勝ち取ることができるようになってから、そこに上積みができると思っています。徳島戦も相手に対して敬意を持って戦いますが、あまり相手のことを考えずに、自分たちの力をどうやって発揮するか。そこに重心を置いて戦っていくことが重要だと思っています」

--大型連休中では唯一のホームゲームになります。ファン、サポーターの皆様メッセージをお願いいたします。

「甲府戦でも、横浜FC戦でも、非常に多くの方々に足を運んでいただきました。横浜FC戦は皆様のエネルギーを感じられましたし、一体となって首位のチームを倒そうという気持ちを感じられる試合になりました。前々節も前節も結果は出なかったですが、次こそは皆様の力を借りながら勝利という結果を掴み取りたいです。試合後に皆様のところへ行ってお礼を言いたかったですが、主役は選手たちです。ただ皆様と手を取り合って共に戦えていることをうれしく思いますし、そういった雰囲気を作って下さったことに対して、感謝の気持ちでいっぱいです。もっと皆様と一体となることで、日々トレーニングしていることの価値が高まっていくと思います。徳島戦も熱いサポートをよろしくお願いいたします」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTA
オフィシャルファンクラブ
クラブゼルビスタ 2022
シーズンシート

シーズンシート
クラブゼルビスタ2022
会員募集中!

